令和8年1月30日
東日本高速道路株式会社

メタバース空間「NEXCO東日本ハイウェイワールド」が再登場
～2/4 からの 1 か月間、雪が舞う高速道路をスマートフォンで体験～

NEXCO東日本（東京都千代田区）とグリーエックス株式会社（東京都港区）は、スマートフォン向けメタバース「REALITY」アプリ上で、メタバース上で高速道路空間を再現した「NEXCO東日本　ハイウェイワールド 2026冬」を2月4日（水）～3月4日（水）までの1か月間、期間限定でオープンします。

今回の取り組みでは、本ワールドを冬仕様へと変更し、雪の中の仮想高速道路でのドライブ気分を体験いただけるほか、冬の高速道路におけるドライブ情報、お得な情報をご覧いただけます。

バーチャル空間の幻想的な雰囲気の中で、ご自身のアバターで高速道路空間を訪れ、思い出を語り合っていただくと共に、車の運転や高速道路に馴染みのない方にも、雪のなかでの運転のコツや高速道路について、知っていただくきっかけになることを期待しています。

アプリ「REALITY」のインストールはこちら

NEXCO東日本では、令和5年11月に「NEXCO東日本ハイウェイワールド」を初開催し、若年層を中心に200万人を超えるお客さまにご来場いただき、高速道路の利用促進や当社の認知向上につながりました。更なる体験価値の創造・発信を目指し、冬をテーマとした高速道路空間として再度の開催に至ったものです。

1. 開催概要

名称：NEXCO東日本ハイウェイワールド 2026冬

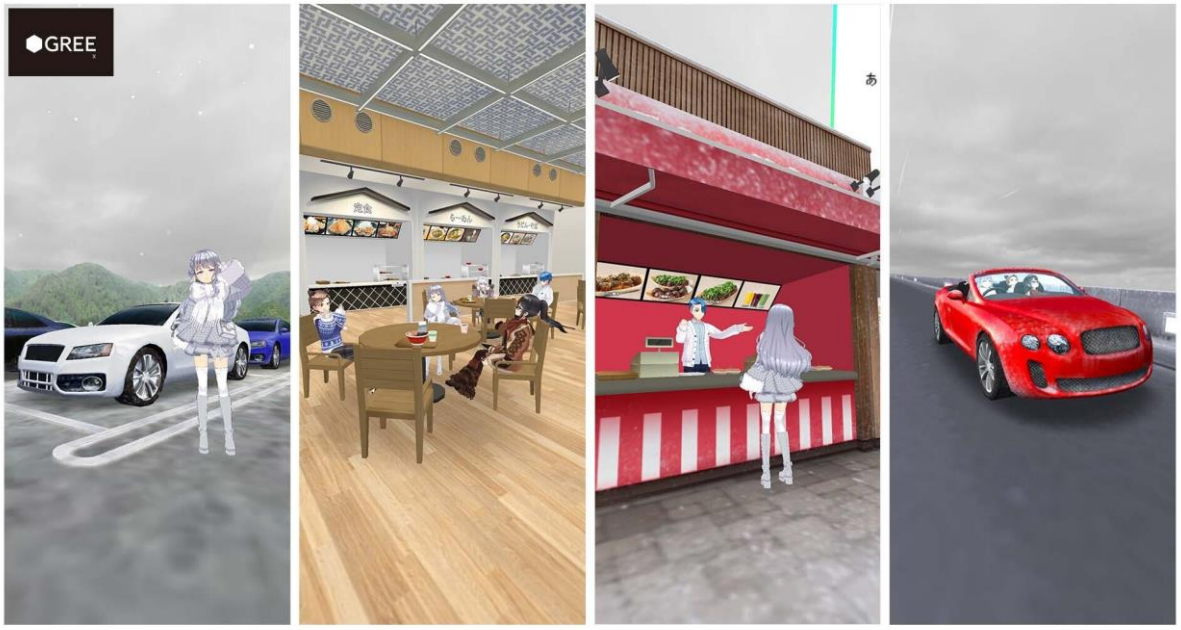
開催期間：2026（令和8）年2月4日（水）～3月4日（水）

体験コンテンツ：冬の仮想高速道路でのドライブ気分の体験、冬の高速道路におけるドライブ情報、お得な情報

ワールド運営：グリーエックス株式会社

2.「NEXCO東日本　ハイウェイワールド」について

「NEXCO東日本　ハイウェイワールド」では、高速道路上でのドライブ気分の体験や、ワールド内のサービスエリア（SA）にある様々な仕掛けを体験できます。この取り組みは、高速道路の課題解決と新たな価値創造を目指す「ドラぷらイノベーションラボ」における、グリーエックス株式会社との共創プロジェクトとして実施しています。



※ワールド内はご自由にお楽しみいただけるようになっていますが、実際にSAや高速道路をご利用の際には、交通ルール等を遵守していただきますようお願いいたします。

3. 参加方法

下記の方法で、「NEXCO東日本ハイウェイワールド　2026冬」へご参加ください。

（アプリ「REALITY」のアカウント登録が完了していない方）

① ご利用されているスマートフォンに、アプリ「REALITY」をインストールし、ご自身のアバター設定ならびにアカウント登録をしてください。

（アプリ「REALITY」のアカウント登録が完了後）

② 「ワールド」タブにあるワールド一覧から、「NEXCO東日本ハイウェイワールド　2026冬」をお探しください。

③ 「プレイする」を押すと配信準備画面に移行し、「NEXCO東日本ハイウェイワールド」にて配信が可能です。

④ 「NEXCO東日本ハイウェイワールド　2026冬」内で配信をお楽しみください。また、「NEXCO東日本ハイウェイワールド　2026冬」にて配信をしているライバーのルームに参加すると、「NEXCO東日本ハイウェイワールド　2026冬」内でライバーとコミュニケーションを取ることができます。

4. スマートフォン向けメタバース「REALITY」とは

世界中で累計2，000万ダウンロードを突破したスマートフォン向けメタバースです。誰でもスマートフォン1台でアバターの姿になり、顔出しナシでのライブ配信や友だちとのコミュニケーションが楽しめるプラットフォームです。

［参考］

＜グリーエックス株式会社＞

設立　　2007年

本社所在地　東京都港区六本木6－11－1　六本木ヒルズ　ゲートタワー

代表者　　代表取締役社長　足立　和久

事業内容　　・DX コンサルティング事業

・DX ソリューション事業

【ドラぷらイノベーションラボとは】

当社のオープンイノベーションを一層促進し、新たな技術やサービスアイデアなどを持つ会社などと、ラボを通じて技術・ビジネスモデルを検証しながら、次世代の高速道路サービスの実現や、地域の活性化、社会課題を解決するような事業を創出することを目的としています。

当社は、地域と地域をつなぎ、お客さまの「安全・安心・快適・便利」を支えてきました。これらに加えて、さらに、ヒト・モノ・コトの移動に「新しい価値」をご提供し、サステナビリティのある運営を目指します。

当社は、新たな価値創造に向け、引き続き取り組みを強化してまいります。

NEXCO東日本グループでは、2021～2025 年までの期間を「SDGsの達成に貢献し、新たな未来社会に向け変革していく期間」と位置づけ、様々な取り組みを行っています。

今回の「ドラぷらイノベーションラボ」の取り組みについては、パートナー企業との新たなサービス・プロダクトの共創・社会実装につながる事業活動として、SDGs目標の 8 番、17 番に貢献するものと考えています。